

ないでしょう。

それを利用しなくとも、それは世の中には存在して様々な情報が行き来していることになります。

顧客サービスとしてのSNS活用は既に取り入れている企業も多く、人事関連で言えば採用業務での活用は実態は別にしてキーワードとしてはトレンドとなっています。社員個人による能動的な情報発信は従来「リスク」として捉えられていましたが、このような ツールを利用するにあたっての、ガバナンス、ガイドラインを整備して活用していくことが企業価値を向上していくことになるということ認識しなければなりません。

今回のテーマである「最強の組織」のためにSNSをはじめとしたソーシャルネットワークがどのように機能するのでしょうか？

組織とってまず思い浮かべるのは、ツリー構造で役割を細分化した形態が一般的であると思います。これはトップダウンアプローチでのオペレーションに対しては有効に機能する構造です。

このような組織に最近では横の繋がりを定義することで、従来組織の枠組みに捉われない組織設計の有効性が言われていたり、トライアルされている会社様もあるのではないのでしょうか。
すなわち「マトリックス組織」と言われる組織概念のことになります。

この続きは>><http://a07.hm-f.jp/cc.php?t=M66785&c=824&d=ee50>

(事業企画推進 HRコンサルタント : 正林 俊介)
※当社正林による、アイティメディア「オルタナティブ・ブログ」公式認定「ハイブリッドIT戦士@エッジ効かせて行こう!」が連載開始しました。
URLはこちら>><http://a07.hm-f.jp/cc.php?t=M66783&c=824&d=ee50>

編 | 集 | 後 | 記 |

今回も最後まで購読いただきありがとうございます。中村です。
ICTインフラ事業では国内随一の実績を有しています、ネットワンシステムズ株式会社様の事例をご紹介出来ますことを心よりうれしく思っております。
また、このように事例紹介にご協力いただきました、ネットワンシステムズ様ならびに村本建設様へ今回当社の企画したセミナー講演に快諾いただき、改めてお客様に支えられている事を、実感し感謝の気持ちを噛み締めているところです。皆様のために今後一層がんばりたいという思いを新たに、どうかこれからの当社、鈴与シンワートにご注目ください。(中村 和史)

こんにちは。先週、高価なチョコレートを自分に送った小田 明子です。
まだ、28日の予定に「鈴与シンワートの大阪セミナー」と記入していない方、…ご安心ください。まだ、間に合いますよ！お申込み、受け付けております。
皆様と会場でお会いできることを楽しみにしています！！(小田 明子)

—◇読者の皆様へ◇—

本メールマガジンは情報共有の推進を目的としております。宜しければ、社内
の他の方が閲覧できる社内掲示板や関係各所へのご転送をお願いいたします。

—◇本メールマガジンの登録解除方法◇—

このメールに対する登録解除は下記URLよりお手続きください。

→

<https://a07.hm-f.jp/index.php?action=C1&a=361&f=11&g=5&c=824&code=2eb58cd5db5d4fd36e5d043671ca90c5>

本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法

このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：
(1) メールアドレス：
(2) 氏名：
(3) 会社名：
(4) 部署名：
(5) 役職名：

suzuyobps005

鈴与シンワート・メールマガジン「鈴与シンワートだより」

発行人：鈴与シンワート株式会社 情報サービス事業本部
ビジネス・プロセス・サービス事業部 営業部 部長 後藤 文孝

編集人：鈴与シンワート株式会社 情報サービス事業本部
ビジネス・プロセス・サービス事業部 営業部 中村 和史／小田 明子

(C)2011- SUZUYO SHINWART Corp. All rights reserved.